

S Y Dかわらばん

〈最新活動情報 No.177〉 2023 年 9 月 20 日号

子ども自然体験キャンプ～全国9会場で開催～

★S Y D主催(文部科学省後援/子どもゆめ基金助成活動) () 内は障がい児数

名称(期日)	開催地《派遣者》	参加数 キャンパー+リーダー+スタッフ
道 南<8/ 4～ 6>	姫川ふれあいセンター・北海道乙部町 《志村和也、中野淳一》	38(2)+22 計 60 人
桧原湖畔<8/ 7～10>	ばんだいふれあいぴあ・福島県北塩原村 《谷野渉、増田航介、林春幸》	65(5)+27 計 92 人
瀬戸内海<8/17～20>	小豆島ふるさと村キャンプ場・香川県小豆島町 《板倉和也、林春幸》	46+20 計 66 人
鹿 児 島<8/17～20>	八重山公園キャンプ場・鹿児島県鹿児島市 《志村和也、真下淳一》	47+31 計 78 人
沖 縄<9/16～18>	国立沖縄青少年交流の家・沖縄県渡嘉敷村 《板倉和也、保坂正志》	※詳細次号

※御手洗康理事長と根岸秋吉専務理事が桧原湖畔キャンプを激励訪問された。また根岸専務は沖縄キャンプにも出向いた

【道南ふれあい】



【桧原湖畔】



【瀬戸内海】



【鹿 児 島】



★連合会等組織共催

☆障がい者招待(友愛キャンプ1人)を含む

名称(期日)	開催地《派遣者》	参加数 キャンパー+リーダー+スタッフ
いばらき<8/17～20>	茨城県立中央青年の家・茨城県土浦市 《根岸秋吉》	72+20 計 92 人
友 愛<8/11～14>	四季の森キャンプ場・滋賀県東近江市 《保坂正志》	18+32 計 50 人
北部九州<8/11～13>	市立玄海青年の家キャンプ場・福岡県北九州市 《板倉和也》	32+23 計 55 人

※北部九州キャンプは台風接近のため、開始日を1日遅らせ、期間を2泊3日とし短縮して実施した。

【いばらき】

【友 愛】

【北部九州】



主催事業・活動等

報告(夏期事業) 7/20 以降

★WAKU×2ボランティアリーダー研修会

各地で、“リーダーの心構え”についての講話やキャンププログラムについての協議のほか、テント設営、野外炊事等の実習をおこなった。また安全管理や感染予防対策、熱中症対策などの確認をおこなうとともに、研修会を通じてキャンプ実施に向けて、リーダー・スタッフ間の気持ちを一つにすることができた。

7/22～23…瀬戸内海 10人〔香川県小豆島町・小豆島ふるさと村キャンプ場〕《板倉和也、林春幸》



7/29～30…友愛<修養団岐阜県連合会青年部ともしび会> 18人〔滋賀県東近江市・四季の森キャンプ場〕《保坂正志》



8/2～3…道南 9人〔北海道乙部町・姫川ふれあいセンター〕《志村和也》



9/9～10…沖縄＜SYD沖縄ヤングゼネレーション＞ 10人〔沖縄県今帰仁村・今帰仁総合運動公園〕
《板倉和也》



9/9～10…広島＜SYD広島＞ 10人〔広島県福山市・県立福山少年自然の家〕
《谷野渉》



7/20～8/15…「ブラジル青年リーダー日本研修」〔東京都・福島県・三重県ほか〕



小笠原マイザさん(26歳・社会人、写真右)と、藤沢正一さん(26歳・大学生、写真左)2名を招聘。初日の歓迎会では、2人とも日本研修を受けることが夢であり、小笠原さんは涙を流し喜び、藤沢さんは、特に創立110周年のSYDジャンパーデザインが気に入り、ブラジルに持って帰りたいと話した。

滞在中は本部研修や富士登山、「全国青年アカデミーキャンプin福島」、「松原湖畔子ども自然体験キャンプ」の

ほか、伊勢青少年研修センターでの「青少年講習会」に参加し、27日間の充実した研修日程を無事に終え帰国した。



SYD 青年部					
月日 (曜)	活動地	主 な 活 動	担当者	滞 在 地(会場・宿泊)	
7月18日 (火)		サンパウロ発→		(福岡県)	
19日 (水)				(福岡県)	
1 20日 (木)		→ 羽田着・出迎え 歓迎会 本部研修		SYD本部	
2 21日 (金)	東京	本部研修 都内散策		富士山山小屋	
3 22日 (土)		本部研修 都内散策		SYD本部 (東京都渋谷区)	
4 23日 (日)	山梨	↑ 富士登山		SYD本部 (東京都渋谷区)	
5 24日 (月)		↓		青年部	
6 25日 (火)		↑ (バス:東京→福島)前泊		ばんだいふれあい広場 (福島県北塩原村緑野)	
7 26日 (水)		↑		SYD本部	
8 27日 (木)		↓ 全国青年アカデミーキャンプin福島		伊勢	
9 28日 (金)	福島	↓		伊勢青少年研修センター (三重県伊勢市)	
10 29日 (土)		↓		SYD本部	
11 30日 (日)		↓ (バス:福島→東京)		ばんだいふれあい広場	
12 31日 (月)		↑ (電車:東京→伊勢) 前泊研修		青年部	
13 8月1日 (火)		↑ 伊勢青少年少女宿講習会		SYD本部	
14 2日 (水)	三重	↓		伊勢	
15 3日 (木)		↓		伊勢青少年研修センター (三重県伊勢市)	
16 4日 (金)		↓ 市内視察		SYD本部	
17 5日 (土)		↓ (電車:伊勢→東京)		ばんだいふれあい広場	
18 6日 (日)		↑ (バス:東京→福島) 前泊		青年部	
19 7日 (月)		↑		SYD本部	
20 8日 (火)	福島	↓ 松原湖畔子ども自然体験キャンプ		ばんだいふれあい広場	
21 9日 (水)		↓		青年部	
22 10日 (木)		↓ (バス:福島→東京)		SYD本部	
23 11日 (金)	東京	ゼミナール		ばんだいふれあい広場	
24 12日 (土)		支援/バック作り 個人まとめ(韓国準備)		青年部	
25 13日 (日)		ディズニールンド		SYD本部	
26 14日 (月)		個人まとめ 送別会(昼食)		ばんだいふれあい広場	
27 15日 (火)		羽田発→		青年部	
16日 (水)		→ サンパウロ着		SYD本部	

7/26～30…「全国青年アカデミーキャンプin福島」12人〔福島県〕《原貫太、高橋源一郎、大田原謙司、明間敏晴、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介》

全国から集まった青年たちでキャンプを実施。まず「SYDとキャンプ」について板倉和也講師補が講話し、“愛と汗”の学びから、スタートした。

主な活動として、修養団山都愛汗の会の高橋源一郎副会長(福島県山岳避難救助隊員)の案内で中津川での沢登りをおこなった。はじめは濡れることにためらいがある参加者たちだったが、川の中で一気に胸まで水に使った後は、足がつかないほど深い場所を泳いだり、飛び込みをしたりときれいな沢の中を思いきり楽しんだ。



フリーランス国際師の原寛太さんの講話「本当に意味のある社会貢献～SDGsを語る前に、知るべきことがある～」では、なかなか知ること



のできない世界の貧困層の状況について知り、私たちの生活が世界のどこかにいる人の苦しみや悲しみの上に成り立っていることを知った。

野外炊事は村ごとにメニューを決めて、創作野外炊事をおこなった。ハンバーガーやピザなど、それぞれの思い思いのものを食材を無駄にしないようにしながらおこなった。



8/22～28…「青年ボランティア・アクションin

フィリピン」21人〔フィリピン・マニラ市、ケソン市ほか〕 《岩佐加寿子、山口千恵子、増田航介》

3年ぶりの開催。主な活動は、ケソン市パヤタスのゴミ捨て場周辺やナボタス市で水上生活を



をしている、また元々ゴミ山だったアロマ地区の子どもたちとの交流のほか、ゴミを拾って生活しているスカベンジャーの方々が暮らすモンタルバン

の視察をした。また日本から持参した400個の「子ども支援バッグ(Tシャツや文房具など)」を各訪問地でプレゼントし、食事支援などおこなった。支援バッグを受け取って「イエーイ」と喜んでいたり子どもたちの姿が印象的だった。



スカベンジャーの暮らすパヤタスでのホームステイでは、受入れ家族は心から歓迎し温かく迎えてくれた。翌日は「幸せの種まき献金」からの支出で、“パヤタスの子どもたちと遠足”として、動物園や遊園地へ行き楽しいひと時を過ごした。瓜生劇場(TIUシアター)では、パヤタスの学校を卒業し勉強だけでなく芸術面での才能を伸ばそうと努力している子どもたちによるパフォーマンスを鑑賞した。



マザーテレサの施設「死を待つ人の家」の訪問の後、「私は将来シスターになりたい」「明日の飛行機が墜落しても後悔はない」と参加者が話してくれた。



今回も多く参加者から「ボランティアをしに来たはずなのに、むしろ自分たちが元気をもらおう」との声が出た。

8/12…「『子ども支援バッグ』作成作業」30人

〔東京都渋谷区・SYDホール〕

年間を通して、全国各地の連合会・クラブをはじめ『幸せの種まきキャンペーン』を実施した学校・団体より送られ文房具やTシャツなどの支援品を、一つ一つ丁寧に手作りの布袋につめ、支援バッグ400袋を完成。上記「青年ボランティア・アクションinフィリピン」の参加予定者や過去の参加者のほか、キャンペーリーダーなど多くの方が“子どもたちの笑顔のために”と、支援バッグ作りに集まった。

9/16～18…「子どもわくわく自然体験キャンプ」〔福島県北塩原村・ぱんだいふれあいびあ〕

《谷野渉、増田航介》

※詳細次号

伊勢青少年研修センターの夏期事業

《武田数宏、保坂正志、寺岡賢、山崎政弘、斎田聖生、竹本英美》

少年少女講習会を3回実施し、はきもの揃えや挨拶、返事などの基本的生活習慣を身につけるとともに、グループ活動を通じて助けあいの心を学んだ。

キャンプファイヤーや五十鈴川での川あそびなどの野外プログラムのほか、会によっては、うどん作りに竹飯盒などの野外炊事、伊勢和紙を使ったうちわ作りなどもおこなった。また大講堂での静坐やトイレ掃除にもチャレンジした。

伊勢市内の子どもたちも多く参加するなど、楽しく学びのある講習会となった。

7/24～26…「茨木寺子屋伊勢合宿」32人

(一般社団法人日本教育再生機構・大阪茨木支部との共催事業)



7/28～30…「岸和田少年少女サマースクール」93人

(公益社団法人岸和田青年会議所との共催事業)



8/1～3…「伊勢少年少女合宿講習会」50人

(一般社団法人伊勢青年会議所との共催事業)



報 告

7/23…「Zoomでオンライン家庭《共育》ひろ

ば」“整体的子育て～家庭でできる子どもの手当て～” 33人《整体ボディワーカー・山上亮》

現在SYDの機関誌「愛」に執筆中の山上亮さんによる講演。身体や心に起こっていることは必要であるから起こり、子どもたちの発熱は押さえつけるのではなく「出し切る」こと、また心の面でもしっかりアウトプット(声や思いを「出し切る」こと)の大切さを語った。

さらに具体的な「手当て」として、リラクセスの方法、冷えや身体のおねじれに対する手当て、また解毒や自然治癒力を高める手当ての方法を画面を通じて伝えた。講演終了後には、自由参加として質問タイムなどの時間を設けて、交流を深めた。



8/11…第2回(通算120回)「青年ボランティアゼミナール」“SYDブラジルの活動について”

31人〔東京都・SYD会議室〕

SYDブラジルの小笠原マイザさんと藤沢正一さんが「SYDブラジルの活動について」をテーマに講演した。参加者はブラジルのキャンプや講習会の特色や200人のキャンパーに対し、リーダーが100人近く参加する規模の大きさに驚いていた。今回もZoom(オンライン)と対面で参加者が集い、SYDブラジルの先輩であり日本研修も経験している上村セリナ利恵さんもブラジルから参加した。



9/3~21…ブラジル修養団への講師派遣

〔ブラジルサンパウロほか〕 《武田数宏》

※詳細次号

【幸せの種まきキャンペーン《出前講座》】

《山口千恵子、谷野渉、増田航介》

予 定

10/ 3 香川県大手前丸亀高等学校

10/24 静岡県浜松聖星高等学校 1 学年

予 定

9/29…第3回(通算121回)「青年ボランティア
ゼミナール“ボランティアアクションinフィリ
ピン報告会”」〔東京都・SYD会議室〕

10/7~9…「子どもWAKU×2ひろば」(広島)

〔広島県福山市・県立福山少年自然の家〕

《板倉和也》

10/7~9…「房総自然体験交流合宿」〔千葉県館

山市・コミュニティガーデン「LEAF&ROOT」〕

《山崎政弘》

10/15~17…「神嘗祭特別講習会」〔三重県伊勢

市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、

山崎政弘、斎田聖生、竹本英美》

会員組織の主な動き

報 告

7/24…修養団山都愛汗の会「愛汗苑清掃作
業」4人〔福島県喜多方市・愛汗苑〕



同会会員が参加し、修養団初代主幹・蓮沼門三の生誕地である「愛汗苑」の整備作業を実施した。

〈発信・小沢清一〉

情報あれこれ

⊕岡村精二修養団宇部市連合会会長、アフリカ最高峰の「キリマンジャロ(5895m)登頂！」

ご本人フェイスブックより一部抜粋↓

出発前の8月6日が私の70歳の誕生日。古希のお祝いも兼ねて、キリマンジャロ登山壮行会を家族でしてくれました。思いを込めて作ってくれた“TeamSeiji”のTシャツを頂上で掲げて記念写真を取りました。

皆さん、ご声援ありがとうございました。

無事、夢を叶えることができました。



成田空港へ向かう出発当日に、SYD本部事務所に立ち寄られた。



11月11日「幸せの種まき祭り」 バザー品提供のお願い

〈提供品例〉

- ・日用品(タオル、シーツ、石鹸等)※未使用品
- ・衣料品(古着はご遠慮ください)
- ・雑貨(バッグ、アクセサリ等)
- ・電化製品 ・玩具 ・食器 ・野菜
- ・特産品(お米、もち米、海産物、菓子等)

ご提供いただける場合は、お電話、ファクシ
ミリ、Eメール等でご一報ください。

問合せ・連絡先

SYD社会教育部「幸せの種まき祭り」係

TEL 03-3405-5441 FAX 03-3405-5424

E-mail: info@syd.or.jp

〈発行・連絡先〉

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2

☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424

E-mail : info@syd.or.jp

ホームページ : <https://syd.or.jp/>

SYD

検索